

Estuary 043

エスチュアリ

～いしかり砂丘の風資料館だより～

☆エスチュアリ…「河口」の意味。北海道一の大河、石狩川と日本海とが出会う場所、それが石狩です。

アオイガイと呼ばれる白くて薄い貝殻を作り、熱帯～温帯の海を漂うカイダコ。殻は産卵・孵化のために、メスだけが持っています。オスはというと、殻を持たず、体長はわずか2 cm程度。メスの10分の1ほどしかありません。しかし8本の腕のうち1本がとてつもない長さです。これは交接腕と呼ばれるもので、自分の精子をメスの体内に送り込むための特殊

展示資料のひみつ

リターンズ

な腕なのです。

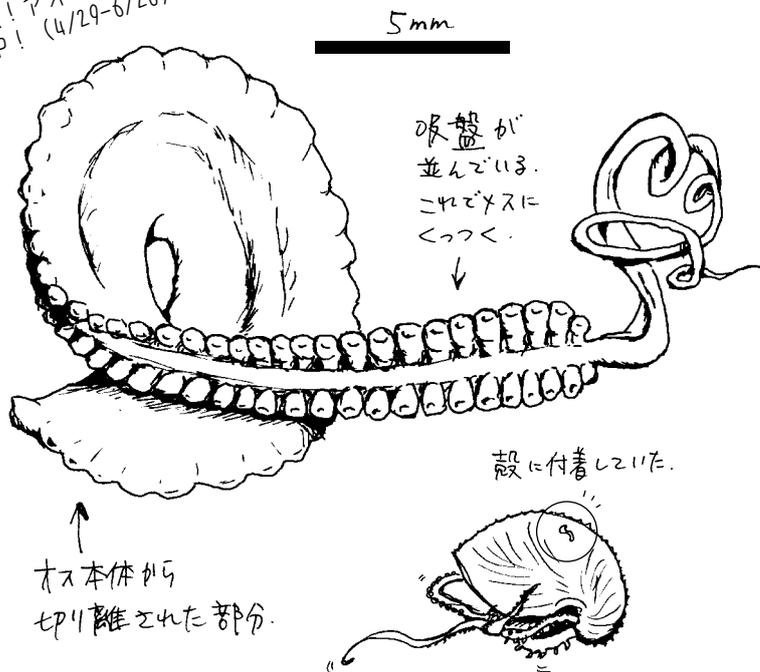
タコ・イカの仲間はすべて、この交接腕で「交尾」するのですが、その中でもカイダコなど一部のタコは、交接腕を自ら切り離して、メスの体や殻（アオイガイ）の中に精子ごと残していくのです。

切断後も交接腕は生きていて、イモ虫のようにウニョウニョ動いています。その後も何回も精子を放出して受精させるとも言われていますが、カイダコのオスは捕獲されることがほとんどなく、詳しいことは明らかにされていません。

2010年秋は、これまでにないほど「大漁」のアオイガイが石狩湾沿岸に漂着しました。その中のひとつ、漂着したばかりで生きたカイダコが入ったままのアオイガイの表面に、この交接腕が付着しているのを発見しました。漂着アオイガイから交接腕が見つかったのは北海道では初めて。4/29からのテーマ展「貝蛸大漁！アオイガイ大量！」で初公開！ ◆

(志賀健司 しがけんじ)

テーマ展
「貝蛸大漁！アオイガイ大量！」
で公開中！ (4/29-6/26)



■カイダコ（アオイガイ）交接腕 Hectocotylus of Argonauta argo

採集地 石狩湾沿岸

採集日 2010年10月19日

漂着したばかりのアオイガイ。まだ生きたタコが入っている！

めぐっていい環^わ

今冬は出勤した日に限って(?)資料館周辺が猛吹雪になり、同じ石狩市内にいながら“果たして今日は自宅に帰れるのだろうか”と窓から外を眺めては不安になっていましたが、それも遙か昔の出来事のように日陰に雪を残すのみです。

そんな冬から春にかけて、海浜植物保護センター・公民館・こども未来館・市民図書館・砂丘の風資料館といった各施設の情報と地図を載せる、リーフレット作りのプロジェクトに、参加させていただきました。図書館の職員の方を進行役に、各施設でボランティアをしている皆さんとリーフレットの名称やその内容を考えるのが主な作業でした。大まかな骨子は既にできていたので、ボランティアの皆さんと分担・取材して各施設の紹介文を作成したりリーフレット完成後の活用方法(例えば、スタンプラリーや各施設を巡る日帰りツアー)などを話し合いました。様々な意見が飛び交って活気ある集まりでした。会う機会がなかなか無い他の施設の方たちと一つのプロジェクトを完成させていく過程は、とても有意義

な体験となりました。

4月29日発行で、リーフレットのタイトルは「いしかり館めぐりMAP」です。リーフレット片手に各施設を巡り、ご自分の知らなかった石狩を見つけていただくと嬉しいです。そして、その見つけたものやリーフレットの使い勝手などを、各施設の職員やボランティアに伝えてもらえたなら、めぐっていい環ができると思っています。◆

(倉 雅子 くらまさこ)

スタンプラリー開催!

4/29 - 5/8

館MAPを持って、

- ・石狩浜海浜植物保護センター
- ・石狩市公民館
- ・石狩市市民図書館
- ・いしかり砂丘の風資料館
- ・こども未来館

に行っておスタンプをもらおうと、オリジナルグッズがもらえます!(先着60人)



東日本大震災に思う

3月11日、地震の起きた時、たまたま家にいてテレビで名取市を襲った巨大津波のライブ映像を目撃することになりました。川を遡り、家、田畑、道路、車を次々に飲込む巨大津波の猛威には茫然とするばかりでした。今回の被災地は北海道とは縁が深く、石狩市ともつながる地域です。個人的には私の父祖の地も含まれます。幸い私の親戚には被害はありませんでしたが、日頃はあまり思う事のない土地や親類のことを改めて思い出す機会ともなりました。さらに道内の太平洋岸の漁業被害にも甚大なものがあり、生まれ故郷のホタテ養殖は壊滅状態だと聞き、心が痛みます。

幸い石狩市では近年それほど大きな地震は発生していませんが、遡ると1834年冬にマグニチュード6.4(推

定)という直下型地震(石狩地震)が起きています。記録がほとんどない時代ですが、当時の石狩市の中心だった石狩本町地区では液状化がおり、建物81棟が全壊または半壊し、住人はオタルナイやアツタに避難したことが、石狩から松前への書状などから読みとれます。液状化があったということから震度5以上と考えられますが、震度6クラスとみる人もいます。

地震ともなって津波が起きたかどうか記録されていませんが、石狩川や石狩湾内では起きた可能性があります。石狩市や札幌市内では近年の発掘調査でこの地震によるとされる液状化現象や地層が面的に動いた痕跡も見つかっています。残念ながらこの地震の再来期(再び起きる時期)はまだ分かっていません。一説に数百年先との楽観論もあるますが、データが少ないので確かなことはいえないようです。ですから注意するのには越したことはないと思っています。◆

(石橋孝夫 いしばしたかお)

2011年の講座・展示

	テーマ	対象	日程	場所
4月	野外講座 石狩ビーチコーマーズ／春の漂着物	小4～大人	4月17日(日) ※終了	石狩浜、砂丘の風資料館
6月	野外講座 地層と化石	小4～大人	6月18日(土)	市内厚田区の野外
7月	体験講座(全2回) 土器づくり教室	小4～大人	成形：7月30日(土) 野焼：9月17日(土)	石狩市公民館 紅葉山49号遺跡
	体験講座 勾玉づくり教室	小1～大人	7月	砂丘の風資料館
8月	体験講座 化石のレプリカをつくる	小4～大人	8月	市内花川地区の会場
9月	体験講座(全2回) フライドチキン骨格標本をつくる	小4～大人	処理：9月3日(土) 組立：9月10日(土)	砂丘の風資料館
10月	野外講座 石狩ビーチコーマーズ／秋の漂着物	小4～大人	10月	石狩浜、砂丘の風資料館
11月	トークイベント 石狩海辺学 ～海と陸との出会い～	—	11月3日(木・祝)	紀伊國屋書店札幌本店
	連続講座(全3回) 石狩大学博物館	高校生以上	11月	石狩市民図書館
12月	講演会 世界遺産と石狩市の遺跡	—	12月	石狩市民図書館
2月	野外講座 石狩ビーチコーマーズ／冬の漂着物	小4～大人	2012年2月	石狩浜、砂丘の風資料館

テーマ展	高橋儀兵衛とトリノ万博 —100年前の万国博覧会に挑んだ男—		4月26日～5月8日	石狩市民図書館
	<small>カイグコ</small> 貝蛸大漁！アオイガイ大量！		4月29日～6月26日	砂丘の風資料館
	子母沢寛と大道書房 —石狩市民図書館貴重書コレクションから—		6月15日～7月4日 7月9日～7月31日	厚田資料室 砂丘の風資料館
	石狩の遺跡と縄文文化		9月7日～10月24日	砂丘の風資料館
	石狩海辺学 ～海と陸との出会い～		10月29日～11月3日	紀伊國屋書店札幌本店
	資料館のお宝 2012		12月～2012年3月	砂丘の風資料館

★日程・内容などは変更になることがあります。

★講座に参加するには、事前に申込が必要です。

★内容の詳細については、資料館までお問い合わせください。または資料館ホームページ、石狩市広報などをご覧ください。

4月末～7月の講座・展示

テーマ展

カイダコ

貝蛸大漁！アオイガイ大量！

カイダコは貝殻を持って南の海に漂うタコ。その白くて薄い貝殻アオイガイが、2010年に石狩の浜に大量漂着しました。約500個のアオイガイすべてと、北海道で初めて発見されたカイダコのオスの「交接腕」を初公開！

■日時 4月29日（金）～6月26日（日）

■場所 いしかり砂丘の風資料館

※資料館の入館料（大人300円、中学生以下無料）が必要です。

4月
開始

テーマ展@図書館

高橋儀兵衛とトリノ万博

—100年前の万国博覧会に挑んだ男—

1900パリ万博表彰状、1911トリノ万博表彰状、鮭缶詰ラベルなど、明治の実業家、高橋儀兵衛氏の資料を展示します。

■日時 4月26日（火）～5月8日（日）

■場所 ※石狩市民図書館研修室1
（石狩市花川北7条1丁目26）

4月
開始

野外講座

地層と化石

800万年前の地層と化石を見て触って、生命と地球の歴史を読み取ります。

■日時 6月18日（土）13:00～17:00

■場所 石狩市厚田区の野外

■対象 小学4年生～大人
（小学生は保護者同伴で）

■定員 20人（先着順）

■費用 無料

■申込 6/2（木）～6/15（水）の間に電話で資料館（0133-62-3711）へ

6月
開催

テーマ展

子母澤寛と大道書房

—石狩市民図書館貴重書コレクションから—

子母澤寛と戸田城聖、2人の厚田出身者の大道書房の出版物を紹介します。

■日時 7月9日（土）～7月31日（日）

■場所 いしかり砂丘の風資料館

※資料館の入館料（大人300円、中学生以下無料）が必要です。

下記の2館でも開催します。

厚田資料室（6/15～7/4）

石狩市民図書館（日程未定）

7月
開始

■石狩市広報に連載「いしかり博物誌」

☞第112回：タコに寄生虫？（2011年3月号）

☞第113回：100年前の万国博覧会（2011年5月号）

いしかり砂丘の風資料館

開館時間 午前9時30分～午後5時00分
休館日 毎週火曜日（祝日の場合はその翌日）、年末年始
入館料 300円（中学生以下は無料）、
団体料金240円（15名以上）
交通 中央バス札幌ターミナルより石狩行き乗車、
「石狩温泉」下車、徒歩1分
（石狩温泉「ホテル番屋の湯」向かい）

***** 編集後記 *****

M9.0の地震。遡上高40m近い津波。数百年に一度という長い間隔でも、繰り返し起きる自然災害は、いつかまた必ずやってくることを思い知りました。巨大噴火、急激な気候変動、隕石の衝突――。地球の歴史の中では、現代人が経験したことのない自然現象がたくさんあります。明日起きるかもしれないけど、数万年先かもしれない。でも、可能性があることは頭の片隅に置いておくほうがいいのかな、と思います。（け）

エスチユアリ No.43

2011年4月29日 発行

いしかり砂丘の風資料館
〒061-3372 北海道石狩市弁天町30-4
TEL/FAX: 0133-62-3711
bunkazaih@city.ishikari.hokkaido.jp
http://www.city.ishikari.hokkaido.jp/museum/